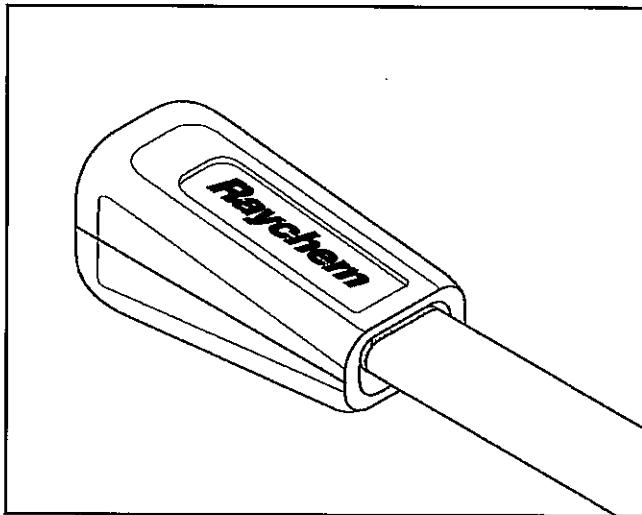


施工要領書



規格との適合

ヒータケーブル H612 および H622 は第三種発熱線 (JIS C 3651-1994) に適合します。

キット内容

項目	数	名称
A	2	エンドシール (ジェル封入式)
B	2	表示ラベル (エンド表示用)

はじめに

H912-JはヒータケーブルH612およびH622専用のジェル封入式のエンドシールキットです。本キットにはエンドシール用のキット部材が2箇含まれています。

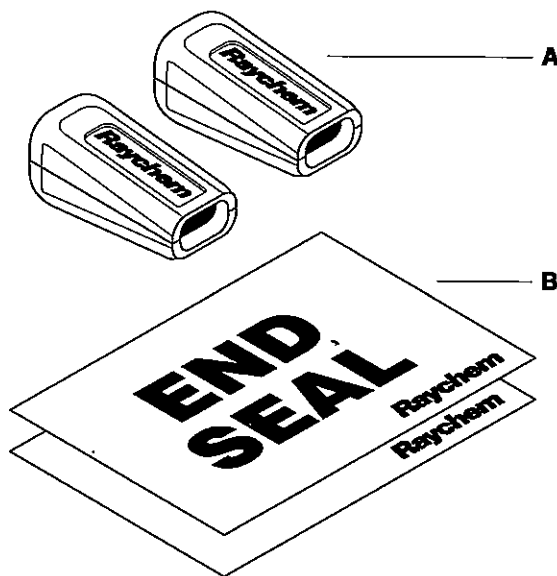
なお、本キットには電源接続用部材が含まれていませんので、必要な場合には別途『H900-J: 電源接続キット (エンドシール付き)』をご使用ください。

施工および技術サポート

本書以外の情報については、別途『設計ガイド・施工および運転マニュアル』を参照してください。また、技術的な質問については弊社代理店あるいは弊社までお問い合わせください。

必要工具

- ニッパー
- カッターナイフ



警告

本組立部品は電気機器です。適切な運転を確保して感電や火災を防ぐためには、正しく施工することが必要です。本施工要領書に記載されているすべての項目に従い、以下に述べる重要事項を必ずお守りください。

●万が一ヒータケーブルが損傷していたり、適切に施工されていない場合、放電火花による火災被害を最小限するために、さらに弊社の要求事項および電気設備技術基準に適合させるために、各ヒータケーブル分岐回路すべてに対し地絡検出装置を取付けること (ヒータケーブルのブレードには必ず2種接地工事を実施してください)。なお、従来の回路保護方式 (配線用ブレーカ等) ではこの火花が防止できません。

- 指定された専用部品の使用により、安全性が確保されます。代用品やビニールテープ等の使用は避けること。
- ヒータ導線 (母線) 間の黒色部分 (発熱体) は導電性があり、適切な施工を実施し濡らさないこと。短絡の可能性があります。
- 施工前と施工中において、組立部品やヒータケーブル両端末は濡らさないこと。
- 損傷した導線は過熱したり・短絡したりする可能性があります。被覆や発熱体に切り込みを入れる際、ブレードや導線を損傷させないこと。
- 導線を互いに接触させると短絡します。導線同士は必ず離した状態にして置くこと。

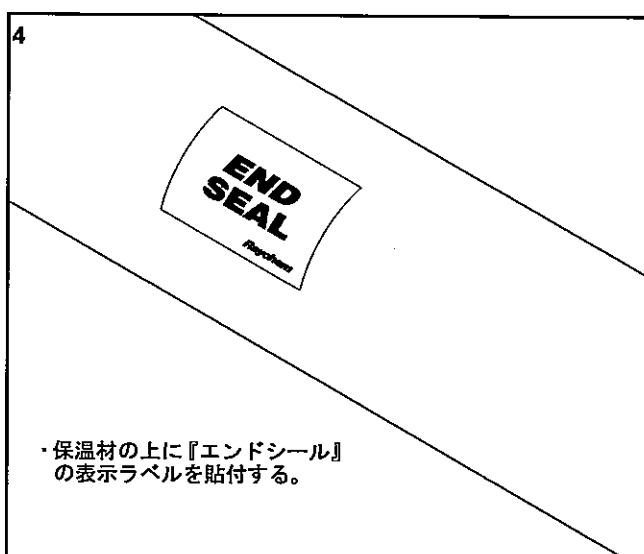
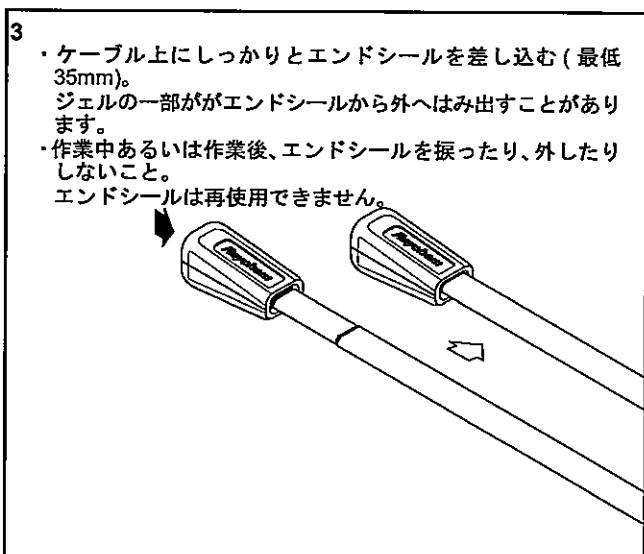
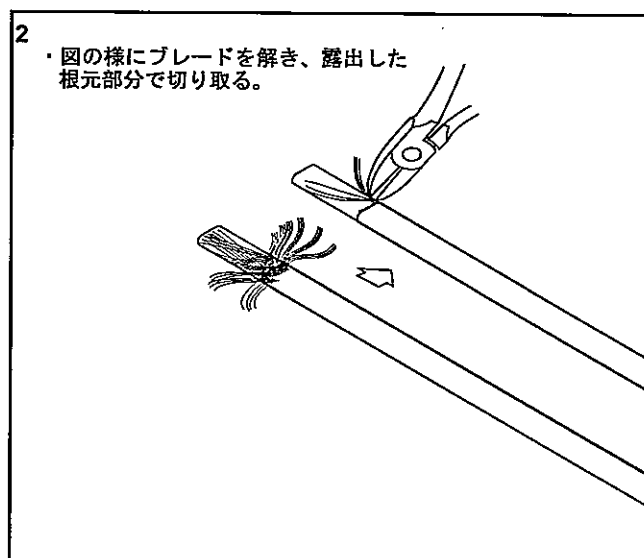
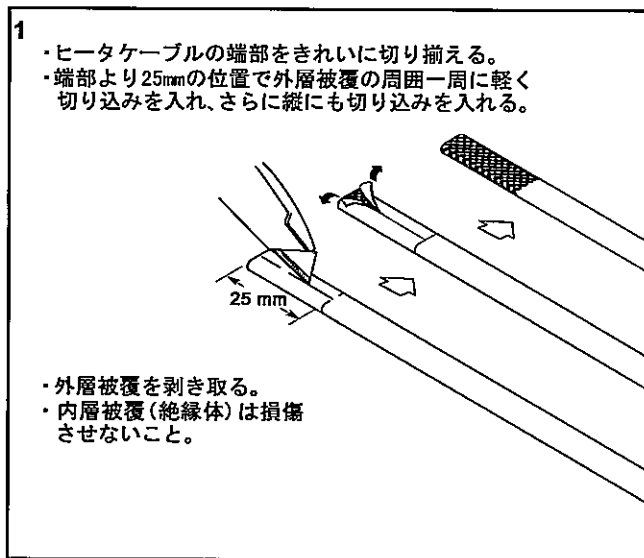
- 熱による損傷を受けた組立部品は短絡の可能性があります。熱収縮作業にはヒートガンやプロパントーチを使用すること。トーチを使用する場合、炎は青色の強い炎を避け、黄色の弱い炎で使用する。また、熱収縮チューブを過熱、気泡や焦げの発生から守るには、炎を常に動かして置くことが必要です。
- 他の組立部品は熱しないこと。損傷を受けた部品は交換すること。
- ファイバグラス等の耐火保温材を利用すること。
- いつでも参照できるように、本要領書は大切に保管してください。

2

エンドシールキット(ジェル封入式)

施工要領書

注意事項：構造上、エンドシールの挿入は一回だけとされます。一度、施工されたエンドシールは再使用できません。したがって、ヒータの施工準備が完了するまでエンドシールの取付けは避けてください。



tyco

Flow Control

Tyco Thermal Controls

タイコ エレクトロニクス レイクム株式会社

〒214-8533

川崎市多摩区登戸3816番地

電話 044-900-5108

FAX 044-900-5146

本カタログに記載する情報(図を含む)は、信頼のおけるものと考えていますが、その情報の完全性について保証するものではありません。ご使用の際には、選定した製品が用途に適合するかどうかについて貴社にて評価・確認していただく必要があります。当社の責任範囲は、製品の取引条件にて確認されることのみであり、製品の使用、誤使用等によって起こった偶発的、間接的損傷については、製造物責任法で定める場合を除き責任を負いません。仕様の変更は予告なしに行うことがあります。また、仕様に影響を与えない範囲での材料、工程等の変更を行うことがあります。但し、別途契約書にて確認した取引条件についてはそれに従うものとします。